

未来づくり春闘スタート

連合は第86回中央委員会(12月2日開催)において、2022春季生活闘争方針を決定し、1月25日には経団連と連合による「労使フォーラム」が開かれ、2年連続でコロナ禍での2022春季生活闘争がスタートしました。

「未来をつくる。みんなでつくる。」をスローガンに「未来づくり春闘」を構成組織・加盟組合とともに取り組みます。

未来づくり春闘のポイント

未来をつくる。

経済の後追いではなく、経済の原動力となる「人への投資」を力強い好循環の起点とする。「すべての」組合が賃上げに取り組むことで、「底上げ」「底支え」「格差是正」を強力に進め、分配構造の転換の突破口とする。

みんなでつくる。

すべての労働組合が賃上げに取り組み、社会に広くアピールすることで、その成果を、コロナ禍の影響を大きく受けている非正規で働く女性労働者を含めた多様な仲間や、労働組合のない職場で働くみんなへ波及させる「みんなの春闘」を展開する。

連合愛知は、地域における賃上げの「底上げ」「底支え」「格差是正」と、社会的セーフティネットの強化に向けて、下記の取り組みを進めていきます。

■連合愛知の主な取組み■

①中小労組支援

- 中小労組学習会(第1回1/29、第2回2/26)
- 地域ミニマム運動(賃金実態調査)
- 企業内最低賃金の協定化・水準引き上げ
- 春闘結果集約・共有

②社会的セーフティネットの強化

- 働き方の見直し(36協定の周知等)
- 行政との意見交換・要望書提出

- 政策要望書の予算への反映状況を確認

③地域全体への波及

- 最低賃金の取り組み
- 愛知県中小企業団体中央会、愛知県中小企業家同友会との懇談会(2~3月)
- 3.4春闘総決起集会(3/4)
- SNS等を活用した社会的発信

告知

2022連合愛知春季生活闘争総決起集会

2022年3月4日(金) 18:00~18:35

構成組織・単組約3000名がZoomで参加

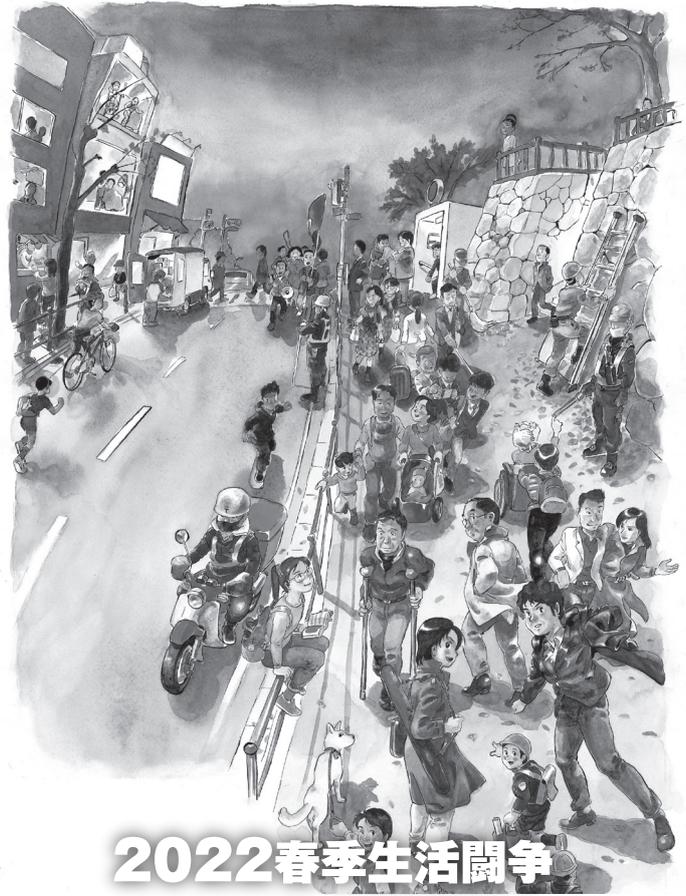
内容:各代表の決意表明(副会長産別、官公部門・中小、パート・派遣・有期契約労働者)

総決起集会アピール採択、等

総決起集会の様子は、後日YouTubeの連合愛知チャンネルで配信します。

ぜひご視聴ください。

未来をつくる。みんなでつくる。



■AR(拡張現実)の使い方

①アプリをダウンロード

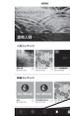


左記のQRコードを読み込み、「App Store」もしくは「Google Play」からアプリをダウンロードしてください。



<https://www.coco-ar.jp/service/app/>

②アプリを開き、下記のロゴを読み込む



ここをクリックし、ARマーカー読み込み用カメラを起動して「未来づくり春闘」のロゴにかざしてください。

未来づくり春闘

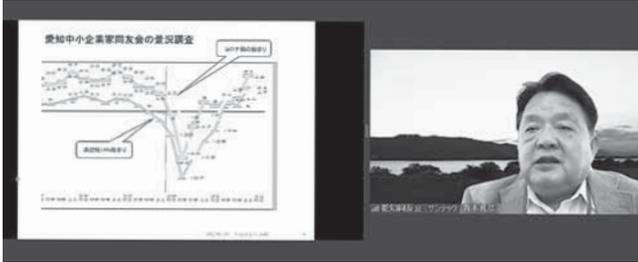


第1回中小労組学習会を開催

1月29日(土)に、2022春闘における交渉支援を目的に、中小労組新任役員や構成組織春闘担当者などを対象とした第1回中小労組学習会を開催しました。

講演1 中小企業を取り巻く情勢

講師 青木 義彦氏
(株)サンテック代表取締役、愛知中小企業家同友会副代表理事)



●中小企業の景況について

景況調査の結果としては3期連続で改善しており、すべての業種で二ケタ台の大幅な改善がみられ、コロナ不況からの回復が鮮明になってきていると判断している。

しかし、中小企業の経営の実態は必ずしも順調とはいえず、改善の実感はない。その理由には、原材料の不足と価格高騰が深刻化するなかで、仕入れ価格の上昇を販売価格に転嫁できない中小企業の現状が一つとしてある。



新型コロナ関連で行われた融資の返済時期を迎えており、苦慮している中小企業も多い。しかし、人材確保や社員の満足度を上げるために、賞与支給額は2020年夏をボトムに全体として上がってきている。

●質疑

Q日本の最賃はとも低く、また中小企業は賃上げできていない。今後どうすればよいのか。

A大企業からの受注価格が低いため、賃上げの原資が確保できていないことが原因。同じ仕事でも大手と比べて予算に差がある。これを改善するには、弱い立場にある中小企業の経営者と労働者が協力し、「公正な取引」を実現していくことが必要。自由経済の名のもとに不正が放置されるような、ルールなき自由経済であってはいけない。

Q中小企業はテレワークが進まないと言われているがなぜなのか。

A日本的働き方は、対面(面着)文化が残っているので、取引先がテレワークであれば中小企業もできることが多い。我が社でも7割の仕事はテレワークのできるものだが、客先が実施している企業を除けば、仕事の実態に合わせて行っているのが、実際にできているのは2割以下程度となっている。

講演2 2022春季生活闘争交渉に向けて

講演3 賃金分析と賃金要求の構築について

講師 大久保 暁子氏
(連合本部 労働条件局 局長)



●2022春闘の意義とスタンスについて

日本の賃金は労働者が生産性を上げているにもかかわらず低い。人への投資を求め、分配構造の転換を図ることが労働組合の社会的責任である。本年は、すべての組合が賃上げを要求し、交渉することによって、分配構造のゆがみを是正する。

●賃金要求～提出までの流れ

STEP1:要求書作成に向けた準備	
1.データ収集・分析	組合員の賃金実態、同業他社や地域の水準を把握。
2.経営分析	会社の決算書などから経営状態を分析する。
3.職場討議	職場集会などで賃金や生活実態の意見集約
STEP2:要求書作成	
1.要求書案の作成	職場討議やアンケート等での意見、構成組織や地方連合会の方針、これまでの会社との交渉経過などを参考に執行委員会で議論する。
2.職場討議	要求書案を組合員に説明する。
3.要求の決定	規約に基づき機関会議(臨時大会、中央委員会、職場代表委員会など)で決定する。なお、妥結の手続きについても議案に盛り込む。
STEP3:要求書提出	
1.要求書提出	構成組織や地方連合会の方針で示された日程を参考に要求書を提出。

●賃金分析の必要性

中小企業の賃金を働きの価値に見合った水準に引き上げるには、賃金実態の把握が不可欠である。賃金交渉を有効に展開していくためには、要求の根拠を明確にすることが重要であり、まずは自社の賃金実態や地域の賃金水準を把握することが必要。

連合では毎年、組合員を対象とした賃金実態調査を都道府県ごとを実施する「地域ミニマム運動」に取り組んでいる。

●賃金分析の方法

①自組合の賃金水準を点検する

<主な点検項目>

- ・極端に賃金が低い従業員がいないか
- ・同じ年齢なのに極端な格差がついていないか
- ・年齢間のバランスがとれているか
- ・男女間に不合理な差がないか
- ・賃金カーブの形が同産業・全産業比で「寝すぎて」いないか
- ・昇給額が「1年・1歳間差」を下回っていないか、など

②社会的賃金水準と比較する

1. 構成組織(産業別)
2. 連合愛知(地域)
3. 連合本部(全国)

参考:社会横断的水準の確認(連合方針)

底上げ	産業の「底支え」「格差是正」に寄与する「賃金水準追求」の取り組みを強化しつつ、これまで以上に賃上げを社会全体に波及させるため、それぞれの産業における最大限の「底上げ」に取り組む。賃上げ分2%程度、定期昇給相当分(賃金カーブ維持相当分)を含め4%程度の賃上げを目安とする。		
格差是正	規模間格差是正	雇用形態間格差	
	目標水準	35歳:289,000円 30歳:259,000円	・昇給ルールを導入する。 ・昇給ルールを導入する場合は、勤続年数で賃金カーブを描くこととする。 ・水準については、「勤続17年相当で時給1,750円・月給288,500円以上」となる制度設計をめざす
最低到達水準	35歳:266,250円 30歳:243,750円	企業内最低賃金協定1,150円以上	企業内最低賃金協定1,150円以上
	底支え	・企業内のすべての労働者を対象に協定を締結する。 ・締結水準は、生活を賄う観点と初職に就く際の観点を重視し、「時給1,150円以上」をめざす。	

大村知事のご挨拶

1月25日(火)にWeb開催された第4回(拡大)執行委員会において、オミクロン株との闘いが正念場にある愛知県で陣頭指揮をとっていただいている大村知事よりあいさつを頂きました。



大村愛知県知事

挨拶要旨

可知会長はじめ連合愛知の皆さまには、日頃より愛知県の発展また勤労者のために、「働くことを軸とする安心社会」をめざしてリーダーシップを発揮し、ご尽力いただいていることに、心から感謝申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症対策については、愛知県も90%以上がオミクロン株に置き換わり、日々過去最多を更新する大変厳しい状況です。1月21日(金)から2月13日(日)まで、愛知県では「まん延防止等重点措置」により、不要不急の行動・移動の自粛、マスクの着用・手洗い、密を避ける、飲食店等の営業時間の短縮など、県民・事業者の皆さまにまん延防止の徹底をお願いしています。

次にワクチン接種について、愛知県では、27万人の医療従事者や50万人の高齢者・障がい者施設の利用者と従業員の方を優先し、3回目のワクチンを接種していただくこととしており、さらに65歳以上の高齢者に順次接種券が送られています。ぜひとも3回目の接種を受けていただきますよう周知をお願いします。

また企業にはBCP(事業継続計画)の策定と点検をお願いしています。多くの方が感染し職場が止まってしまうという大変厳しい状況ですが、BCPを策定し乗り切っていただくようお願いします。今年の秋にはジブリパークがオープンします。国内外から多くの方に来て楽しんでいただけるようしっかりと作り上げ、ポストコロナ・アフターコロナで盛り上げていきたいと思っています。

2022年は愛知県政150周年であり、将来に向けて住み、働いていきたいと思えるような愛知を、連合愛知の皆さんとともに作り上げていきます。

4月からは改正育児・介護休業法などが順次施行されます。ワーク・ライフ・バランスの推進やテレワークの推進など働き方改革を進め、様々な取り組みを通じて連合愛知が掲げる「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて連携してまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

大学寄付講座 第10回・第14回

これから社会に出る大学生に「労働組合の役割や労働運動の意義を理解してもらいたい」「ワークルールの知識を身につけてほしい」という問題意識から、愛知県立大学で大学寄付講座を2021年10月から2022年の期間、全15回の講座を実施しています。第10回講座(12/

20)と第14回講座(1/31)には、働く現場を知る構成組織・加盟組合役員から労働組合の活動事例や現場の思いを紹介していただきました。

●第10回講座(12/20)～労働現場から学ぶ④～医療・介護の現状と課題～

スピーカー:天本 敬久氏(自治労 名古屋市労働組合民生支部 書記次長)
牧原 美雪氏(自治労 名古屋市病院労働組合 執行委員長)

・医療・介護の現状・課題をはじめ、職場・労働環境の様子および労働組合の取り組みを紹介

●第14回講座(1/31)～労働現場から学ぶ⑤～公務労働の現状と公共サービスの役割～

スピーカー:鈴木 晶子氏(愛教組連合 専門局担当役員 女性部担当)
後藤 芳章氏(自治労 岡崎市学校給食協会従業員労働組合 特別執行委員)

・公務員の労働環境と職場の現状や課題および労働組合の取り組みの紹介



天本敬久氏



牧原美雪氏



鈴木晶子氏



後藤芳章氏

3月6日は「36(サブロク)の日」 ※日本記念日協会 登録

Action!

36

を是正して、すべての職場で「より良い働き方」を実現していくためには、「36協定の適切な締結」が必要です。

より多くの方が、「働き方」について、

会社が残業をさせるためには「36協定の締結」が不可欠です。しかし、連合の調査によると36協定を知っている人は5割半ば。また勤め先が「36協定を締結して

いる」のは、4割半ばとの回答でした。

長時間労働

をしっかり考えるきっかけにさせていただきたい、「36協定」を浸透させたい。そんな願いを込めて、2019年から3月6日は「36(サブロク)の日」になりました。

連合愛知は「Action36」として、「36の日」を通じて36協定の締結と適正な運用の周知活動に取り組んでいきます。

連合チャンネル「あつまれ!ユニオンスクエア」 ～36協定って何?～

放送日:3月3日(木) 18:30～19:30
出演者:全国社会保険労務士会連合会
有識者、ナオキ兄さん
連合本部 芳野会長他

<https://twitcasting.tv/unionion>



視聴してね!



“3.8国際女性デー”をご存じですか？

CNG委員会がつくるPR動画
 3月1日配信スタート
 ぜひご覧ください。



1857年、ニューヨークで起きた被服工場の火災によって、多くの女性たちが亡くなったことを受けて、女性の低賃金・長時間労働に抗議する集会が3月8日に開かれたことが起源です。



その後、国連において3月8日は「女性の権利と平等のために闘う記念日」となり、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と、女性の尊厳・人権の確保を表す「バラ」をシンボルに、世界各国で様々な行動が行われています。



連合愛知では、毎年、国際女性デーを周知する活動を行っています。本年は、CNG委員会が中心となり自組織において国際女性デーの周知と、各職場で「バラ」を取り入れた写真を撮影し投稿いただきます。写真は「国際女性デー」のPR動画としてまとめ、3月1日から連合愛知のHPやYouTubeチャンネルで配信します。ぜひご覧ください。

※CNG委員会とは

(仮)次世代リーダー委員会の新名称。「Connecting to the Next Generation」の頭文字から「CNG委員会」としました。直訳は「次世代とつながる」青年委員会と女性委員会がつながり一緒に活動し、また委員会で活動した経験を仕事につげたり、次の役員へつなげるなど、連合愛知の方針にもある「つなぐ」を広く捉え活動していきます。



▶YouTube
 連合愛知
 チャンネル



フリーランスのための Work-Q共済をご紹介します

連合は、多様な雇用・就労形態で働く人々と連合が緩やかにつながるためのウェブサイトWor-Q(ワーク)を立ち上げ、連合ネットワーク会員を新設することで、すべての働く仲間をつなぎ、まもるための取り組みを展開しています。

2021年10月から、こくみん共済coopとの連携のもと、フリーランス専用の共済サービスWor-Q共済の展開を開始しました。Wor-Q共済は、フリーランスの方が団体扱いで加入することができる共済で、個人で加入するよりもお手頃な掛金で万が一に備えることができます。

皆さまの身近にいるフリーランスの方々に「フリーランスとして働く人の課題解決サイトWor-Q(ワーク)」ならびに「フリーランス専用の共済サービスWor-Q共済」の紹介をお願いします。

第4回(拡大)執行委員会 2022年1月25日

議事

- 1.連合愛知専従者服務規則の改定について
- 2.「第8次組織拡大中期計画」2022年度活動推進計画(案)について
- 3.2022春季生活闘争 総決起集会の開催について(その2)
- 4.第49回衆議院議員選挙中間総括(案)
- 5.2022メーデーの開催について(その1)

確認事項

1.各種委員会の委員交代について

委員会名	組織名	新	旧
ジェンダー平等推進委員会	JR連合	西川由紀子	片平千秋

- 2.2月「全国一斉集中労働相談ホットライン」実施(案)について
- 3.2022年度「仲間づくセミナー」の開催について
- 4.2022年度連合愛知の公称組織人員について
- 5.2022年度フードドライブの実施について

- 6.2022年度「交通安全県民運動」の取り組みについて
- 7.「連合愛知助け合い運動」募金の寄託式について

その他

1.「ワークルール検定(初級・中級)2022・春」の開催について

【初級検定】

2022年6月12日(日) 11:00~11:45(受付10:15~)
 フジコミュニティセンター 4階 大会議室

【中級検定】

2022年6月12日(日) 13:30~14:50(受付12:50~)
 フジコミュニティセンター 4階 大会議室

※申込方法

ワークルール検定公式ウェブサイト(<http://workrule-kentei.jp/>)の「受検申込み」から直接申込み。

2.当面の日程について



◀連合本部

あなたの「いいね」が社会に向けた世論喚起につながり、あなたの「シェア」が大きな力となります!

▶連合愛知



連合愛知ホームページ

連合愛知の活動紹介、ブログ、各種資料データなどを掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

